

# 令和5年度当初予算の編成

骨格予算編成であっても、新型コロナ対策に加え、コロナ禍・物価高騰を乗り越える対策、雇用対策、子育て支援等について、緊急性を精査し積極計上。

## 新型コロナウイルス感染症対策 ※感染状況に応じ機動的に執行

100億円程度

- 病床確保、コンタクトセンター等による相談・支援、行政検査・無料PCR検査、ワクチン接種、保健所体制 等

## コロナ禍・物価高騰を乗り越える対策

60億円程度

### <事業者支援>

- 売上・利益回復に向けた投資等への支援
- 旅行支援・お食事クーポン券等の需要創出継続
- タクシー・バス運転手の確保対策（2種免許補助等）
- 物価高騰・燃油高騰対策に対する運送事業者支援

### <農林水産業支援>

- 農業・畜産・林業・漁業等の省エネ機器等導入に支援

### <生活者支援>

- 生活困窮者支援を行う市町村のバックアップ
  - ・今月から生活福祉資金の返済が開始
  - ・支援員（市町村・社協）の人材育成や市町村等からの相談対応
- 生活困窮世帯に対する光熱費高騰支援
  - ・市町村と協調して電気料金上昇分を支援

- 酪農・養鶏・養豚・肉牛生産者に対する配合飼料代支援

等

## リスキリング推進等による人材・人手不足の解消

2億円程度

- DX時代に対応するデジタル人材の育成加速
  - ・離・求職者を県内IT企業とマッチング、スキル習得から就職まで支援（受講奨励金10万円/月・人を支給（県と企業で負担））
- リスキリング環境整備・機運醸成
  - ・経営者向け普及啓発セミナー、企業内推進リーダーの養成 等

- 人手不足業界の新たな労働力の掘り起こし
  - ・専業主婦（夫）、シニア、就労困難な方等の就職意欲につながるセミナー・講習の実施 等

# 令和5年度当初予算の編成(子育て王国関連)

6億円程度

## 子どもの権利擁護等

### 鳥取県版アドボカシーの本格実施

#### 権利救済機関の設置

⇒施設入所等の際に子どもの意見を聞いて子どもにとって最善の措置先を決定

社会的養護を受けている子どもの権利救済制度

児相  
児童福祉施設  
里親等

調査・調整・意見

権利救済機関

意見  
表明

社会的養育経験者グループ

こども

育成  
参加

支援

アドボカイト  
(意見表明支援員)

#### 児童相談所ICT活用効率化

・電話、対面による相談や、会議の音声即時テキスト化  
⇒子どもと向き合う時間を確保  
+情報の即時共有

#### <例:権利侵害を訴え出たケース>

- ①アドボカイト(意見表明支援員)が子どもの意見を聴き取る
- ②子どもが直接、またはアドボカイトが代弁して権利救済機関に意見を伝達  
※専門的アドボカイトにバトンタッチ
- ③受理した権利救済機関は、子どもと児相に対して調査を実施し、調査を踏まえ子どもの訴えに対して調整、意見を出す
- ④児相は、権利救済機関から出された意見に対して改善策を検討、対応する
- ⑤権利救済機関は、改善の取組をモニタリングする

#### <例:一時保護した児童が「家に帰りたくない」と思っているケース>

- ①アドボカイトが子どもの意見とその背景を聴き取る
- ②子どもが直接、またはアドボカイトが代弁して児相に伝達
- ③子どもの意見とその背景を踏まえ、児相が対応(※)を検討、結果を子どもに伝える  
※施設への措置、家族との話し合いの場を設ける など  
⇒子どもが納得するまで①～③を繰り返す

## 結婚・出産・育児支援

### ■結婚支援

- とっとり出会いサポートセンター「えんとりー」結婚支援コンシェルジュを新規配置

### ■出産支援

- 出産・子育て応援交付金10万円を支給(R4.10～実施)

### ■育児支援

- ヤングケアラー等に対しアウトリーチで家事・育児等を支援
- 保育ニーズに対応した保育環境充実
  - ・4、5歳児に係る保育士の手厚い配置を支援(25:1配置)
  - ・0歳児入所に対応する保育士の加配期間の拡充
  - ・障がい児受入のための施設改修支援

### ■経済的負担の軽減

- 高校生通学費助成の対象拡大
- 「鳥取県未来人材育成奨学金」の対象業種を追加  
理容師、美容師、歯科技工士

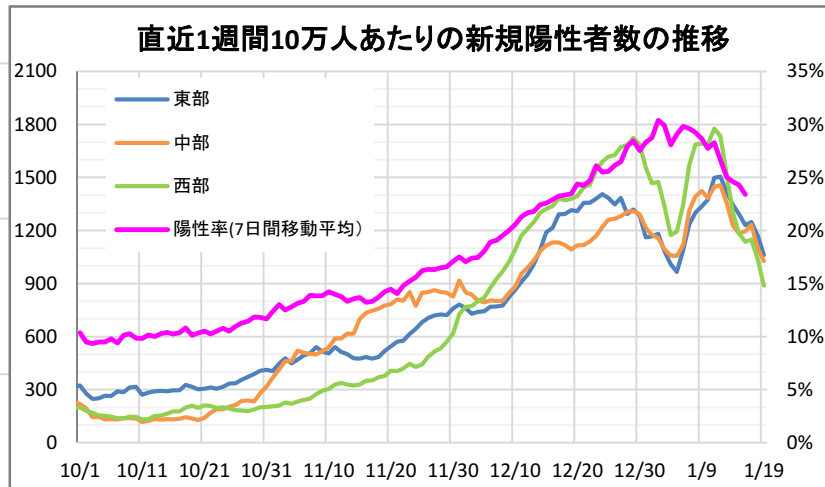
# 鳥取県の新規陽性者数の推移・クラスター発生状況

## 【新規陽性者の推移】

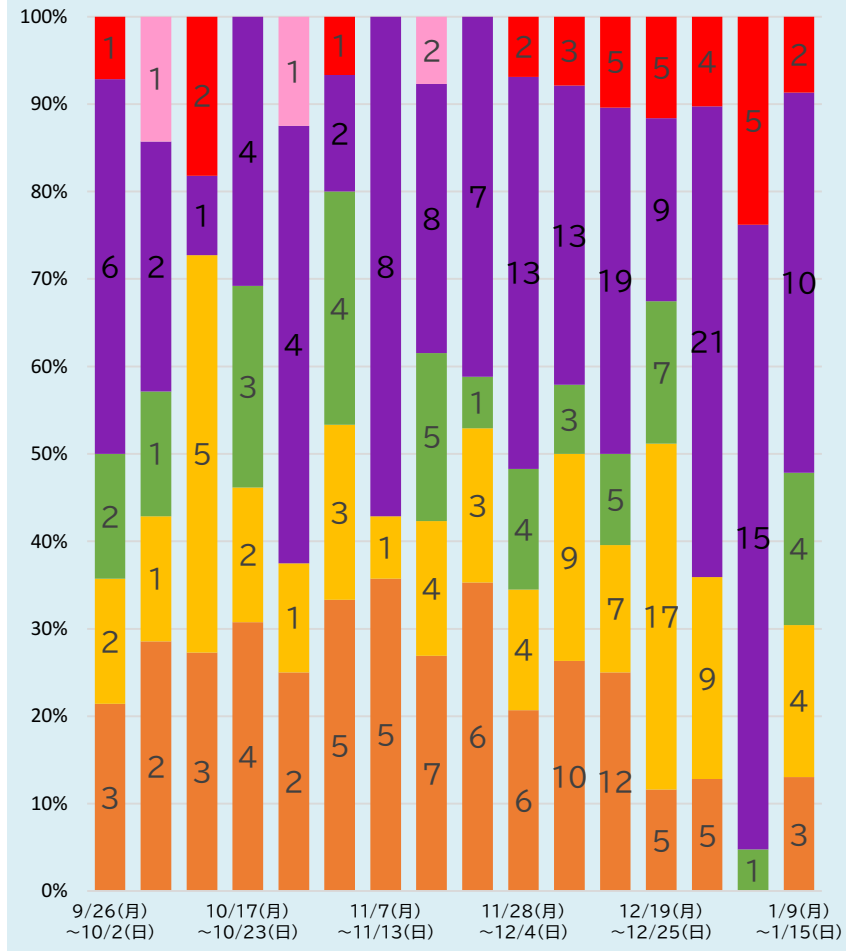
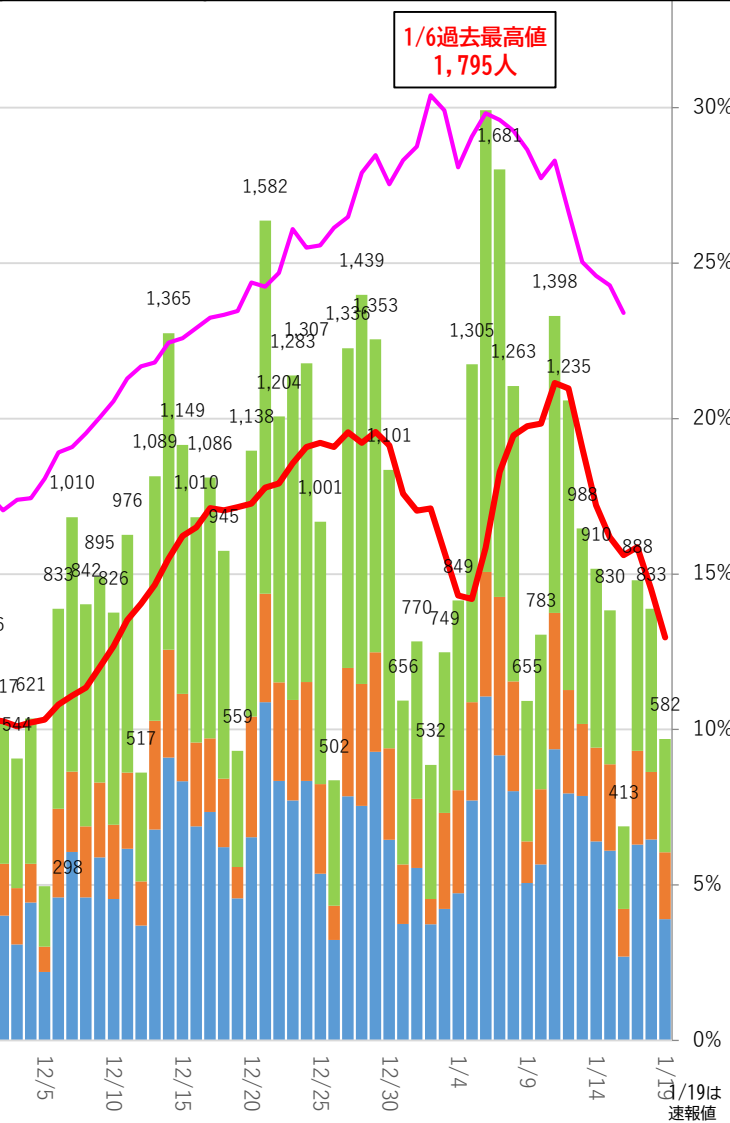
東・西部	鳥取県版新型コロナ特別警報
中部	鳥取県版新型コロナ警報
全県	感染急拡大嚴重警戒情報

## 【最近のクラスター発生状況】

- 1月以降、高齢者施設等で25件のクラスターを確認
- 新学期や企業活動の再開等に伴い、学校・保育所・事業所でのクラスターも確認



1/6過去最高値  
1,795人



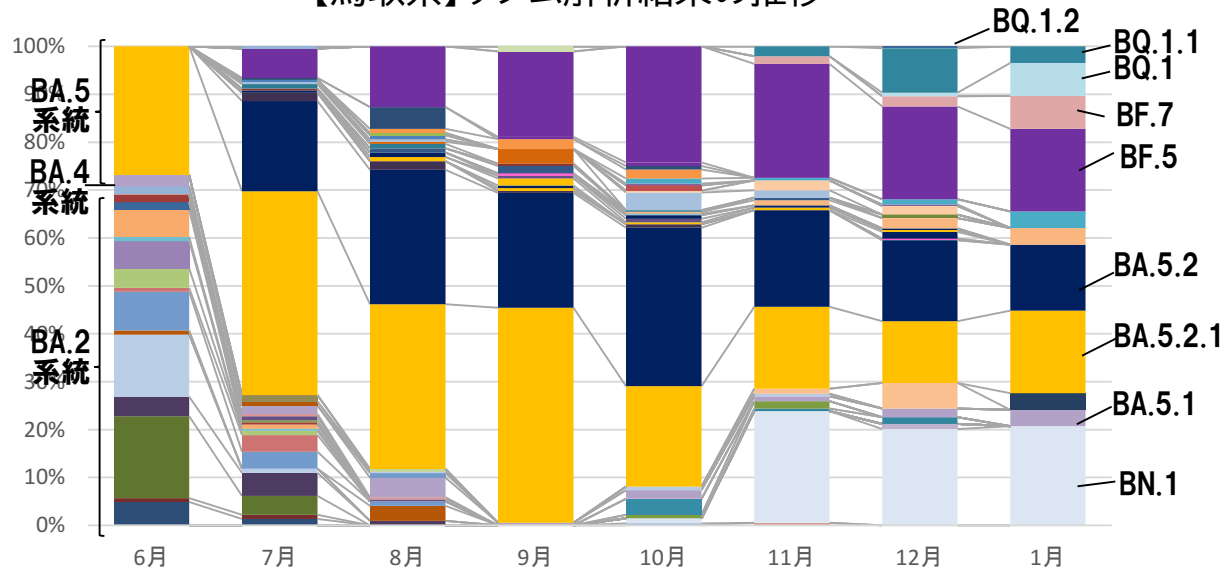
■ その他 ■ 医療機関 ■ 高齢者施設等 ■ 事業所 ■ 保育所等 ■ 学校等

# 県内におけるオミクロン新系統の発生状況

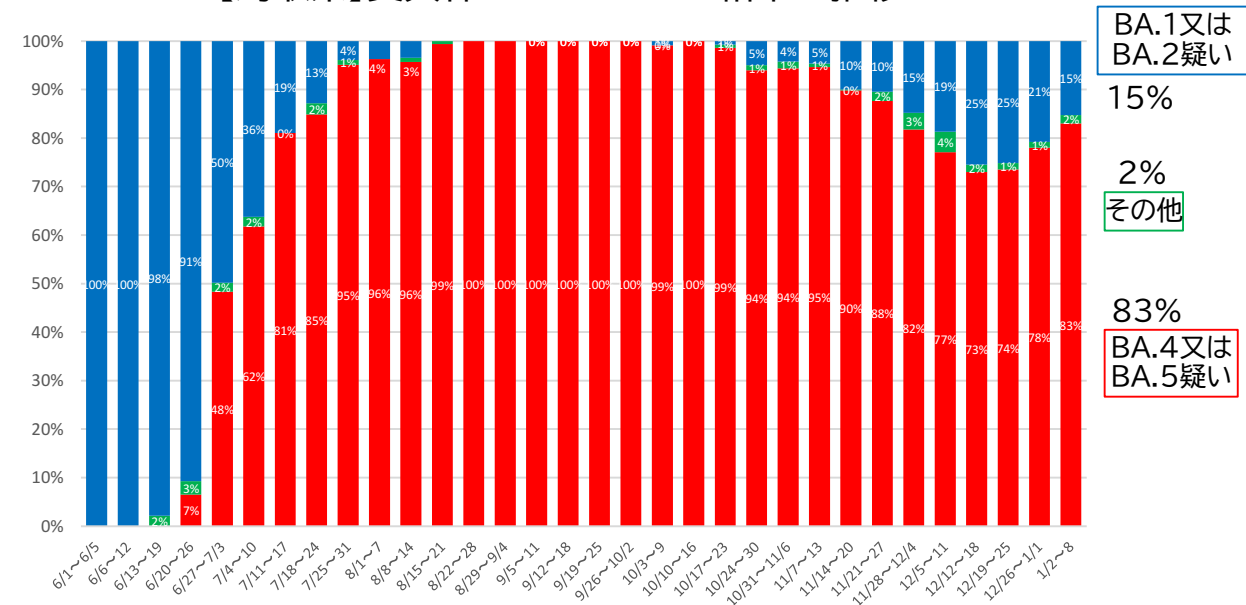
○県内は、より免疫逃避能があると指摘されている新系統(BN.1系統、BQ.1系統、BF.7系統等)も含め、様々な変異株を引き続き検出

- ・「BN.1(BA.2.75系統)」が11月以降増加:10月3件→11月45件→12月以降62件
- ・「BQ.1.1(BA.5.3系統)」が増加傾向:11月4件(いずれも西部)→12月以降27件(東11、中8、西8)  
「BQ.1」4件、「BQ.1.2」1件も確認
- ・「BF.7(BA.5.2.1系統)」も複数検出:11月3件(東3)→12月以降8件(東3、中2、西3)
- ・「XBB系統」(XBB.1、XBB.1.5等:BA.2.10系統とBA.2.75系統の組換え体)は11月に1件確認以降検出なし
- ・変異株スクリーニング検査でL452R陽性(BA.5系統疑い)の割合が12月中旬を境に再び増加傾向  
12月中旬(12/12-18):73%→1月上旬(1/2-8):83%

【鳥取県】ゲノム解析結果の推移



【鳥取県】変異株スクリーニング結果の推移



# 病床確保緊急対策事業

- 医療従事者の自宅待機や一般病棟での院内感染等により、コロナ患者用の確保病床の運用は厳しくなっており、**新規の入院受入れは、病床使用率の数字以上に難しい状況**

<1/15現在の入院状況> ※括弧内の%は病床使用率

入院者の利用病床	東部	中部	西部	全県
確保病床	58人(42.3%)	21人(32.3%)	80人(53.7%)	159人(45.3%)
確保病床以外	115人	85人	86人	286人

- 療養病床に**入院中の高齢者等は、転院等による急な環境の変化が精神的にも体力的にも負担となる**場合がある



## 【コロナ病床の新たな運用方針】

各病院の合意に基づき、病院内で入院患者の陽性が判明した場合、**一般病床をコロナ病床に機動的に切り替え、必要な病床を確保**(事前協議が整った病院から運用開始中)

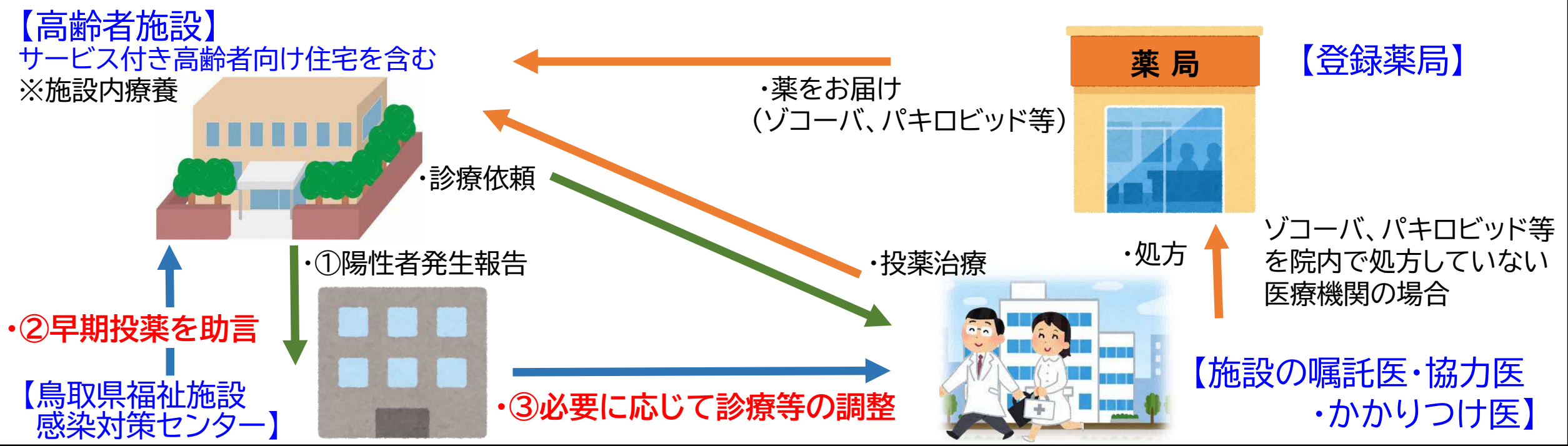
➡ **自院での入院受入れを継続していただくことで確保病床のひっ迫を回避するとともに、転院等による患者の負担を軽減**



# 高齢者早期投薬緊急対策

## ○重症化防止に効果的なコロナ治療薬の早期投与を促進

・施設に陽性者が発生した時点で、感染対策センターから早期投薬を助言するとともに、必要に応じて診察等を調整



※在宅患者についても、かかりつけ医等が早期投与

(参考) コロナ治療薬の機関登録・処方実績

治療薬	登録医療機関	登録薬局	投与対象者
パキロビッド	74機関 (183人分)	38機関 (152人分)	重症化リスク因子のある患者
ゾコーバ	108機関 (21機関)	97機関 (11機関)	重症化リスク因子のない軽症～中等症の患者

登録医療機関・薬局の増加を働きかけ

※数値は1/4現在、ゾコーバのカッコ内は処方実績ありの医療機関数  
※ラゲブリオ(対象:重症化リスク因子のある患者)は、昨年9月に一般流通が開始されたため、登録不要で通常の処方が可能

# ワクチン接種緊急促進事業

オミクロン株対応型ワクチンは、全国平均を上回る接種率で推移しているものの、依然、全体の4割程度の接種率にとどまっている。また、乳幼児や小児ワクチンの接種率は低迷し、この年代の感染が2割以上を占めるなど深刻な状況

乳幼児・小児接種は、市町村、医療機関と連携して接種を進めてきたが、接種率低迷の現状を受け、市町村と意見交換を実施(1/17)

<市町村からの意見>

・接種予約が入らなくなり、住民のワクチン接種への関心は落ち着き、接種自体停滞 ・ワクチン接種に関する住民からの問い合わせもなくなっている

⇒ 改めて市町村、医療機関、県3者で連携し、今までの取組をより一層強化するとともに新たな促進策を実施することを合意

<新たな促進策>

○ショッピングモール、レジャー施設で接種促進キャンペーンを実施するとともに、モール内大型スクリーンで接種勧奨動画を放映

・接種促進キャンペーン 1/21(土) イオンモール日吉津 1/29(日) 鳥取砂丘こどもの国 ・接種促進動画放映 1/21(土) イオンモール日吉津(調整中)

○小児科医会、市町村と連携・協力し、中部エリアでの小児集団接種会場を特別開設(日時・場所調整中)

<重点強化する促進策>

○かかりつけ医からの接種勧奨 ○市町村乳幼児健診時の接種勧奨、防災無線での広報 ○保育所・幼稚園での保護者向け出前説明会

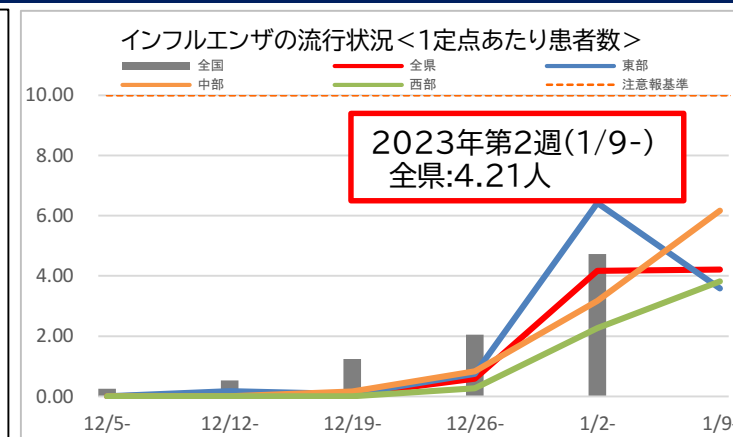
※12歳以上の2価ワクチン接種促進のため、県産米ごはんパックをプレゼントする「初春ワクチン接種キャンペーン」を実施している他、県外往来が想定されることから、県立高校、企業等へのワクチンバス派遣を実施

# フルロナ重点対策

○季節性インフルエンザの流行も始まっており、**県内でも新型コロナと季節性インフルエンザの同時感染事例が5例確認**されています。今後インフルエンザの流行が拡大した場合、同時感染者が急増する懸念もあり、**厳重な警戒**が必要です。

○**同時感染による重症化リスクは、コロナ単独感染に比べて高い**という報告もあり、**県民の命と健康を守るため、フルロナ対策を重点実施**します。

- ①**コロナ、インフルワクチン接種による重症化防止促進**
- ②**コロナ患者への治療薬の早期投与による重症化防止**
- ③**基本的な感染予防対策の徹底と自主検査、療養への備えを呼び掛け**



# 鳥取県東部における企業の新たな動き

## 新生プロテリアル(株)プロテリアルフェライト電子 鳥取拠点で新たな成長投資を実施

旧：日立金属(株) / 日立フェライト電子(株)

### ◆電気自動車に搭載される **基板(窒化ケイ素基板)の量産体制拡充**

PROTERIAL

#### 窒化ケイ素基板

- ・電気自動車等の重要部材
- ・半導体が発する熱を放熱

### ◆令和5年後半稼働予定 (鳥取市南栄町)



窒化ケイ素(Si<sub>3</sub>N<sub>4</sub>)基板

総事業費 **10億円超** → **産業成長応援補助金**  
新規雇用創出 **数十人規模** **で支援予定**

## 六角レンチ専門メーカー『エイト』 工場新設・生産体制強化 世界市場を開拓

1月26日(木) 鳥取工場 第4棟 竣工式開催

### ◆(株)エイトは平成元年に鳥取市気高町に進出 現在稼働中の3棟に加え、**第4棟を新設**

### ◆**一貫生産体制構築・生産強化**(六角レンチ、先端工具等)

### ◆**鳥取発の信頼される品質**で、 アジア・欧米等**グローバルに新市場開拓**

総事業費 **約3億円** → **産業成長応援補助金**  
新規雇用創出 **4人** **で支援予定**



六角レンチ



## 菊田印刷(株) (本社：大阪府豊中市) がアニメグッズ製造部門の鳥取市進出を決定

### ◆人気アニメのアクリルスタンドなどの**アニメグッズ製造工場**が鳥取市湖山町に立地決定！

人気漫画のアクリルスタンド



総事業費 **約1億円** → **産業成長応援補助金**  
新規雇用創出 **約10人** **で進出を支援予定**

● **操業開始：令和5年6月頃予定**

©金城宗幸・ノ村優介・講談社 / 「ブルーロック」製作委員会  
©諫山創・講談社 / 「進撃の巨人」The Final Season製作委員会



# 羽田便利用促進のための戦略会議

米子・羽田便 さらに便利に！

2023年夏は  
6往復運航します



米子・羽田便の夏ダイヤ6往復（通年6便化）など提供座席数拡大が決まったことに対し、関係者による利用促進会議をオンライン開催します。

日時：1月20日(金)14時30分～15時

参加者：ANA、鳥取空港の利用を促進する懇話会、米子空港利用促進懇話会、観光関係者、関係市、県等

内容：羽田便の現状及び夏ダイヤの情報共有を図り、今後の利用促進策について協議

## 東部地域交通まちづくり活性化会議

東部地域の公共交通の現状や課題等を共有し、今後の公共交通とまちづくりの課題解決方策について議論

⇒ 実行可能なものから速やかに実践を開始  
JR西日本と自治体とで連携協定締結も検討

### 第2回会議の概要

▼日時 1月23日(月) 13:00～14:00

▼場所 県立図書館大研修室

▼出席者 <交通事業者> 佐伯JR西日本山陰支社長、城平智頭急行社長、矢部若桜鉄道専務(代理)、中島日ノ丸自動車社長、澤日本交通社長、岡鳥取県ハイヤータクシー協会副会長(代理)

<圏域自治体> 深澤鳥取市長、長戸岩美町長、金児智頭町長、吉田八頭町長、上川若桜町長、平井鳥取県知事

▼会議のポイント  
・データによる東部地域の公共交通の現状を共有  
・課題解決に向けた方策を議論

【例】観光需要獲得に向けた取組、輸送モード間の共創による交通体系づくり、公共交通利用を前提としたまちづくりや利用促進 など



## 「とっとりフードドライブ」の実施

食品ロス削減のため、家庭などで余っている食品を、福祉団体等に寄付します。

受付期間／1月23日(月)～27日(金) ※本年度3回目

今回、初めて全19市町村でフードドライブを一斉実施

- 受付窓口(32窓口) 市町村役場、社会福祉協議会、県(本庁・中部・西部)
- 寄付食品の提供先 食料支援団体等を通じて、県内の子ども食堂、福祉施設等へ寄付

### 寄付していただきたい食品

※賞味期限が2ヶ月以上あるものをお願いします。

- ・麺類などの乾物
- ・缶詰、レトルト、インスタント食品
- ・砂糖、塩、しょうゆなどの調味料
- ・のり、ふりかけ、お茶漬けの素
- ・飲料、お米

### 受付できない食品

- ・賞味期限が2ヶ月を切ったもの
- ・開封してあるもの
- ・生鮮食品(肉類、魚介類、冷凍食品)
- ・生の野菜類
- ・アルコール類(みりん、料理酒は除く)

※上記食品はお受けできません。ご理解、ご協力をお願いします。

毎年、寄付食品が増えており、フードドライブへの関心が高まっている。

・R4寄付点数(2回目まで)3,371点  
【R3比較:約1.5倍、H30比較:約2.7倍】



# お得に 楽しく！みんなでSDGsマイナポイント兔

県民のSDGsへの関心を高め「実践」を促すため、家事シェア・若者定住アンケート・ウォーキングでのSDGs実践活動で自治体マイナポイントを付与

- 実施期間: 令和5年1月21日～2月22日
- ポイントは楽天Edy・auPAY・d払いで使用可
- 申請にはマイナンバーカードが必要

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

8 働きがいも経済成長も

11 住み続けられるまちづくりを

## <ポイント付与の対象>

- 【家事シェア】** ジェンダー平等を実現しよう 働きがいも経済成長も  
 家事シェアボードの活用方法や家事が楽になるアイデアを公式SNSに投稿  
**【1,000ポイント/人】**
- 【若者定住アンケート】** 住み続けられるまちづくりを  
 専用アプリ「とりふる」から若者をターゲットとした「とっとり暮らしの魅力」に関するアンケートに回答  
**【2,000ポイント/人】**
- 【ウォーキング】** すべての人に健康と福祉を  
 専用アプリ「あるくと」を使い、対象期間中（2/1～2/12）に72,000歩（6,000歩/日）以上歩く  
**【2,000ポイント/人】**

## <ポイント付与の手順>

- STEP 1 公式SNSやアプリ（とりふる・あるくと）を使って参加
  - STEP 2 とっとり電子申請サービスで本人情報を登録（氏名・住所・電話番号・マイキーID等）  
→（県）付与条件及び本人の確認
  - STEP 3 マイナポイントアプリで自治体マイナポイントを申請
- ポイント付与



## SDGs×NE-STな住まいづくりフェア

とっとり健康省エネ住宅『NE-ST』や太陽光発電など、健康・快適で省エネな未来の住まいづくりをテーマに親子で楽しめる体験型イベントを開催

○日時: 令和5年1月29日(日) 10:00～16:00 ○場所: 米子コンベンションセンター 多目的ホール

